

農林水産省登録
第17622号

植物成長調整剤

グリーンフィールド®

粒 剂



樹木の剪定軽減に!
芝や雑草の草丈も
長期間抑制!

特長

- ① さまざまな植物の草丈の伸長を長期間抑制します
- ② 日本芝にも西洋芝にも使用でき、処理後刈込みを行っても効果が持続します
- ③ 多種類の雑草に対して、休眠期から生育初期に処理することにより、長期間草丈の伸長を抑制します
- ④ 雑草を枯らさずに草丈の伸長を抑制するので、景観を維持しながらのり面を保護します
- ⑤ 樹木の新梢伸長を抑制し、剪定軽減の効果があります
- ⑥ 効率良い散布が可能で、ドリフトしにくい粒タイプです

®登録商標



株式会社 二チノ一緑化

植物成長調整剤

グリーンフィールド[®]

粒 剂

成分・性状

種類名：フルルブリミドール粒剤
有効成分：フルルブリミドール 1.0%
性状：淡褐色粒状 1~2.5mm

安 全 性

〔毒性区分〕 普通物	急性経口毒性 (LD ₅₀) (原体)	急性経皮毒性 (LD ₅₀) (原体)
	ラット ♂ 1,413mg/kg ♀ 1,875mg/kg	ラット ♂ >5,000mg/kg
〔魚 毒 性〕 A類相当	コイ TLm (48hr) 1,087ppm	ミジンコ TLm (3hr) 11,800ppm

使用方法

作物名	使用目的	使用時期	m ² 当り使用量	総使用回数*	使用方法
日本芝 西洋芝(パミューダグラス、ベントグラス、ブルーグラス)	草丈の伸長抑制	生育初期～生育盛期	10～20g	6回以内 (粒剤は2回以内)	全面 均一散布
	新梢伸長抑制による剪定軽減		5～10g	2回以内	
樹木類	新梢伸長抑制による剪定軽減	萌芽2週間前又は新梢伸長開始2週間前	10～20g	1回	全面土壤混和
作物名	適用場所	適用雑草名	使用目的	使用時期	m ² 当り使用量
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面等	一年生雑草 多年生広葉雑草	雑草の伸長抑制	雑草発生前～発生始期	20～40g
					3回以内
					植栽地を除く樹木等の周辺地に全面均一散布

*印は本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数を示す。

作用機作

グリーンフィールドの有効成分であるフルルブリミドールはおもに根より吸収され、草丈伸長をつかさどる成長ホルモン・ジベレリンの合成を阻害し、植物の草丈の伸長を抑えます。作用の強さは植物によって異なります。

抑草スペクトラム

キク科	ヨモギ、ヒメムカシヨモギ、ハルジオン、ヒメジョオン、オオアレチノギク、アメリカセンダングサ、ハキダメギク、ハハコグサ、オオキンケイギク	イネ科	メヒシバ、エノコログサ、イヌビエ、スズメノカタビラ	ツユクサ科	ツユクサ、ムラサキツユクサ	オオバコ科	オオバコ
		マメ科	シロツメクサ、ヤハズソウ、ヤマハギ、ツルマメ	ナデシコ科	オランダミナガサ、ツメクサ、ノミノフスマ	ヒルガオ科	コヒルガオ
		タデ科	イヌタデ、オオイヌタデ、イシミカワ、ヒメシバ、ギンギ	サクラソウ科	コナスビ	アザガ科	シロザ
				シソ科	シソ、ナギナタコウジュ	カタバミ科	カタバミ
				ゴマノハグサ科	ゴマノハグサ	イグサ科	クサイ
					タチイソフグリ、オオイソフグリ	ヒユ科	イヌビユ、アオビユ

! 効果・薬害等の注意

- 極端な乾燥条件下での使用はさけてください。また本剤は土壤処理剤で、効果発現のため薬剤が作物及び雑草の根域に達する必要があるので、散布後にかん水することをおすすめします。かん水設備のない所では降雨前の散布をおすすめします。但し、降雨後の再散布は行わないでください。
- 本剤を芝に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - 本剤の使用により、葉の色や形が変化する等の症状がみられたり、不均一な草丈抑制をもたらしたりする場合があるので、まきむらのないよう均一に散布してください。特に極端な傾斜地での使用には十分注意してください。
 - 散布後効果発現までに日数を要するので、刈込直後に処理するか、効果発現まで通常どおりの刈込管理を行ってください。
 - ターフ形成前の芝生には使用しないでください。
 - ゴルフ場においては、ラフ以外では使用しないでください。
- 新梢伸長抑制による剪定軽減の目的で使用する場合は次の注意を守ってください。
 - 極端に樹勢や生育が旺盛な場合には、効果が不十分な場合があるので注意してください。
 - 樹勢や生育が劣っている場合や生理障害が出やすい条件では使用しないでください。
 - 幼木では使用しないでください。
 - 伸長抑制効果は、一般に使用量が多いほど効果が高くなる傾向があるので、希望する抑制程度に合わせて所定の範囲内で使用量を決めてください。
 - 施用により翌年まで効果が持続することがあるので、次年度の処理に際しては、その反応に応じて薬量を適宜調整してください。
 - 連年施用により枝および葉の生育や開花等に影響を及ぼすことがあるので注意してください。
 - 花木類では花蕾や枝葉の觀賞性に影響があるので、本剤の使用は留意してください。
 - 下記以外の樹木類の属する作物に対して本剤を初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるか、自ら事前に薬効及び薬害を確認した上で使用してください。
かいづかいぶき、しゃくなげ、ベニカナメモチ、つげ類、つづじ類
- 本剤は対象外の周辺植物にも影響を及ぼすので、からないように注意してください。
- 本剤は他の作物を植え付ける予定のある土地では使用しないでください。また使用後の散布器具類は十分洗浄してください。

- 公園、堤とう等で使用する場合は特に以下のことに注意してください。

- 水源池、養殖池などに本剤が飛散・流入しないよう十分注意してください。
- 散布器具・容器の洗浄水は河川などに流さず、空袋などは環境に影響を与えないように適切に処理してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特にはじめて使用する場合には予備試験を行うか、または病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

! 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。散布後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係ない者が使用区域に立ち入らないよう繩張りや立札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。



- 使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空袋は圃場などに放置せず、廃棄物処理業者に委託する等により適切に処理してください。

取扱店



株式会社 二チノ一緑化

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-4 岡谷ビルディング6F
TEL (03) 3808-2281 FAX (03) 3808-2360
大阪営業所 TEL (072) 727-8015
ホームページアドレス <http://www.nichino-ryokka.co.jp>



農林水産省登録
第17317号

植物成長調整剤

グリーンフィールド®

水和剤

NETIS登録 TH-150010-A



特長



- ① さまざまな植物の草丈の伸長を長期間抑制します
- ② 日本芝、西洋芝にも使用でき、処理後刈込みを行っても効果が持続します
- ③ 日本芝に比べてティフトンやベントグラスなどの西洋芝に強く作用します
- ④ 多くの雑草、とくに種子発生の雑草に対して強い伸長抑制作用を示すため、雑草の侵入や繁殖も抑えることができます

®登録商標



株式会社 二チノ一緑化

植物成長調整剤
グリーンフィールド[®]
水和剤

成分・性状

種類名：フルルプリミドール水和剤
有効成分：フルルプリミドール ……50.0%
性状：類白色水和性粉末 60μm以下

安全性

〔毒性区分〕 普通物*	急性経口毒性(LD ₅₀)	急性経皮毒性(LD ₅₀)
	ラット ♂ 1698mg/kg ♀ 1972mg/kg	ウサギ♂ >5000mg/kg
〔魚毒性〕	コイ LC ₅₀ (96hr) 26.2mg/L	

使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用目的	使用時期	m ² 当たり使用量		本剤の使用回数	使用方法	フルルプリミドールを含む農薬の総使用回数
					薬量	希釈水量			
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面等	一年生雑草及び多年生広葉雑草	雑草の伸長抑制	雑草発生前～発生始期	0.4～0.8g	100～300mL	3回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面均一散布	3回以内
日本芝 西洋芝(ペントグラス) 西洋芝(バーミューダグラス、ブルーグラス)	草丈の伸長抑制	生育初期～生育盛期	0.2～0.4g 0.1～0.2g	250～300mL	2回以内	全面均一散布	6回以内(粒剤は2回以内) 8回以内(粒剤は2回以内) 2回以内		

作用機作

グリーンフィールドの有効成分であるフルルプリミドールはおもに根より吸収され、草丈伸長をつかさどる成長ホルモン・ジベレンの生合成を阻害し、植物の草丈の伸長を抑えます。作用の強さは植物によって異なります。

抑草スペクトラム

キク科	ヨモギ、ヒメムカシヨモギ、ハルジオン、ヒメジョオン、オオアレチノギク、アメリカセンダンギク、ハキダメギク、ハハコグサ、オオキンケイギク	イネ科	メヒシバ、エノコログサ、イヌビエ、スズメノカタビラ	ツユクサ科	ツユクサ、ムラサキツユクサ	オオバコ科	オオバコ
		マメ科	シロツメクサ、ヤハズソウ、ヤマハギ、ツルマメ	ナデシコ科	オランダミミナグサ、ツメクサ、ノミノフスマ	ヒルガオ科	コヒルガオ
		タデ科	イヌタデ、オオイヌタデ、イシミカワ、ヒメスイバ、ギシギ	サクラソウ科	コナスビ	アカザ科	シロザ
				シソ科	シソ、ナギナタコウジュ	カタバミ科	カタバミ
				ゴマノハグサ科	タチニンフグリ、オオイヌノフグリ	イグサ科	クサイ
						ヒユ科	イヌビュ、アオビュ

使用上のポイント

グリーンフィールドは主に根部より吸収され、茎の先端部に移行して作用します。したがって茎葉に付着した本剤を速やかに根域に浸透させるためにも、多めの水量による散布や処理後の灌水が、より安定した効果発現を促します。

効果・薬害等の注意

- 他剤と混用はさけてください。
- 極端な乾燥条件下での使用はさけてください。また本剤は土壤処理剤で、効果発現のため薬剤が作物及び雑草の根域に達する必要があるので、散布後にかん水することをおすすめします。かん水設備のない所では降雨前の散布をおすすめします。
- 本剤は対象外の周辺植物にも影響を及ぼすので、かからないように注意してください。
- 本剤は他の作物を植え付ける予定のある土地では使用しないでください。また使用後の散布器具類は十分洗浄してください。
- 本剤を芝に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - 本剤の使用により、葉の色や形が変化する等の症状がみられたり、不均一な草丈抑制をもたらしたりする場合があるので、まさむらのないよう均一に散布してください。特に極端な傾斜地での使用には十分注意してください。
 - 散布後効果発現までに日数を要するので、刈込直後に処理するか、効果発現まで通常どおりの刈込管理を行ってください。
 - ターフ形成前の芝生、生育が弱っている芝生、健常な芝生でも生理障害が出やすい条件の芝生には使用をさせてください。
 - フェアウェイ、ティーグラウンドでは、高薬量(0.2～0.4g/m²)散布はさせてください。

- ラフでは、高薬量(グリーンフィールド水和剤:0.2～0.4g/m²、グリーンフィールド粒剤:10～20g/m²)2回以内)もしくは低薬量(グリーンフィールド水和剤:0.025～0.075g/m²)6回以内)のいずれかの薬量のみで管理することができます。
- 本剤(及び本剤と同一の有効成分を含有する薬剤)の伸長抑制効果は、一般的に使用量が多いほど効果が高くなる傾向にあるので、希望する抑制程度に合わせて所定の範囲内で使用量を決めてください。また、2回以上使用する場合は、過剰な伸長抑制効果をさけるため、2回目以降の処理は効果が切れる時期に行ってください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 水源池、養殖池などに本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
- 散布器具・容器の洗浄水および残りの薬液は河川などに流さないでください。容器、空袋などは環境に影響を与えないように適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には予備試験を行うか、または病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

- 食べられません。 ●使用前にラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●使用後の空袋は圃場などに放置せず、廃棄物処理業者に委託する等により適切に処理してください。

取扱店



株式会社 二チノ一緑化

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-4 岡谷ビルディング6F
TEL (03) 3808-2281 FAX (03) 3808-2360
大阪営業所 TEL (072) 727-8015
ホームページアドレス <http://www.nichino-ryokka.co.jp>



MAP

マルチアプリケーションプログラム[®]

Multi Application Program[®]

グリーンフィールド[®] 水和剤

春期、芝生育が
活発になる頃に
散布開始

グリーンフィールド
0.025~
0.05g/m²

3~4週間ごとに
夏期も連用処理

冬期休眠もしくは
生育が鈍る頃の
4週前まで散布



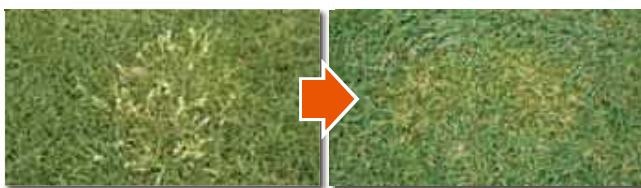
マルチアプリケーションプログラムとは?

春から秋にかけて、定期的に少薬量の薬剤を散布する方法。



マルチアプリケーションプログラムのメリット

- ベントグラスとの薬剤感受性差を利用し、ベントグリーンに入り込んだスズメノカタビラの密度低減が期待できる。
- 芝草丈の伸長を抑制し、芝草の刈込軽減が期待できる。



1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

- 春期は、芝が動き出した頃に散布を開始してください。
- 夏期は、芝の生育が著しく低下している場合、もしくは病虫害など極度のストレスを受けたときは散布を中止してください。
- 秋期は、霜の降りる1ヶ月前に散布を中止してください。

[®]は日本農業株式会社の登録商標。



株式会社 二チノ一緑化

特徴

- 芝草の刈込軽減が期待できる。
- ベントグラスとの薬剤感受性差を利用し、ベントグリーンに入り込んだスズメノカタビラの密度低減が期待できる。

成分・性状

種類名：フルルプリミドール水和剤
有効成分：フルルプリミドール…50.0%
性状：類白色水和性粉末 60μm以下

規格：50g×20

安全性

人畜毒性：普通物（毒劇物に相当しないものを指している通称）

急性経口毒性（LD ₅₀ ）	ラット ♂ 1,698mg/kg	♀ 1,972mg/kg
急性経皮毒性（LD ₅₀ ）	ウサギ ♂ ♀ > 5,000mg/kg	

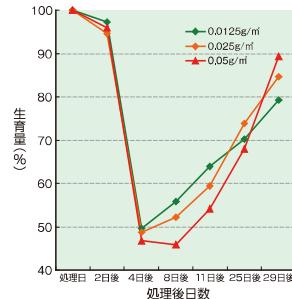
魚毒性：A類相当

コイ LC ₅₀	26.2mg/L(96hr)
オオミジンコ EC ₅₀	35.3mg/L(48hr)

適用表

作物名	使用目的	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルルプリミドールを含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
日本芝	草丈の伸長抑制	0.2～0.4 g/m ²	250～300 mL/m ²	芝生育初期～芝生育盛期	2回以内	全面均一散布	6回以内（粒剤は2回以内）
		0.025～0.075 g/m ²	100～300 mL/m ²		6回以内		
		0.1～0.2 g/m ²	250～300 mL/m ²		2回以内		
		0.0125～0.05 g/m ²	100～300 mL/m ²		8回以内		8回以内（粒剤は2回以内）
西洋芝 (ベントグラス)	スズメノカタビラ密度低減	0.025～0.05 g/m ²	100～300 mL/m ²	芝生育期 (スズメノカタビラ生育期)	2回以内		2回以内
		0.025～0.05 g/m ²	100～300 mL/m ²				
西洋芝 (パームユーダグラス) 西洋芝 (ブルーグラス)	草丈の伸長抑制	0.1～0.2 g/m ²	250～300 mL/m ²	芝生育初期～芝生育盛期	2回以内		

グリーンフィールドの刈込軽減効果



● 試験機関／公益財団法人 日本植物調節剤研究協会委託ゴルフ場
● 試験圃場／茨城県Aゴルフ場
● 試験品種名／ベントグラス（ブライトン）
● 試験規模／1区19m²×2反復
● 処理日／平成23年5月13日
(公益財団法人 日本植物調節剤研究協会委託試験)

スズメノカタビラの抑制効果

試験区	使用薬量 (g/m ²)	散布水量 (mL/m ²)	スズメノカタビラ本数	抑制率 (%)	薬害
無処理			26.5	100%	
グリーンフィールド水和剤	0.0125g	100mL	22.0	83.0%	—
	0.0125g	300mL	21.0	79.2%	—
	0.025g	100mL	19.5	73.6%	—
	0.025g	300mL	19.0	71.7%	±
	0.05g	100mL	17.0	64.2%	±

● 調査日／平成23年5月13日（処理39日後）

—：薬害なし ±：微程度（濃化）

● 試験機関／東日本グリーン研究所

● 試験圃場／山梨県Bゴルフ場

● 試験品種名／ベントグラス

● 試験規模／1区1m²×2反復

● 処理日／平成23年4月4日

(公益財団法人 日本植物調節剤研究協会委託試験)

実例

アメリカA大学内バッティンググリーン (SePRO社提供)



試験区	薬量(g/m ²)	散布間隔	散布年
無処理区			
グリーンフィールド水和剤 0.05g/m ²	0.05g/m ²	3週間(5月～11月)	2006～2008

効果・薬害等の注意

- 他剤と混用はさけてください。
- 極端な乾燥条件での使用はさけてください。また本剤は土壌処理剤で、効果発現のため薬剤が作物及び雑草の根部に達する必要があるので、散布後にかん水することをお勧めします。かん水設備のない所では降雨前の散布をお勧めします。
- 本剤は対象外の周辺植物にも影響を及ぼすので、かからないように注意してください。
- 本剤は他の作物を植え付けるので、使用しないでください。また使用後の散布器具類は十分洗浄してください。
- 本剤を土に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - ①本剤の使用により葉の色や形が変化する等の症状がみられたり、不均一な草丈抑制をもたらしたりする場合があるので、まきむらのないよう均一に散布してください。
 - ②本剤及び本剤と一緒に効果成分を含むする薬剤の伸長抑制効果は、一般に使用量が多いほど効果が高くなる傾向にあるので、希望する抑制程度に合わせて所定の範囲内で使用量を決めください。また、2回以上使用する場合は、過剰な伸長抑制効果をさけるため、2回目以降の処理は効果が切れる時期に行ってください。
 - ③散布後効果発現までに日数を要するので、刈直後に処理するか、効果発現まで通常どおりの刈込管理を行ってください。
 - ④ターフ形成前の芝生、生育が弱っている芝生、健常な芝生でも生理障害が出やすい条件の芝生には使用をさせてください。
 - ⑤ゴルフ場で使用する場合は次の注意を守ってください。
 - ①日本芝で使用する場合は以下の注意を守ってください。
 - ベントグラスでは、葉の色や形が変化する等の症状がみられたり、不均一な草丈抑制をもたらしたりする場合があるので、まきむらのないよう均一に散布してください。
 - ベントグラスでは、葉の色や形が変化する等の症状がみられたり、不均一な草丈抑制をもたらしたりする場合があるので、まきむらのないよう均一に散布してください。
 - フェアウェイ、ティーグラウンドでは、高薬量(0.2～0.4g/m²)散布はさけてください。
 - ラフでは、高薬量(グリーンフィールド水和剤: 0.2～0.4g/m²、グリーンフィールド粒剤: 10～20g/m²、2回以内)もしくは低薬量(0.025～0.075g/m²、6回以内)のいずれかの薬量のみで管理する方が望しいです。
 - ②西洋芝(ベントグラス)で使用する場合は以下の注意を守ってください。
 - ベントグラスでは、葉の色や形が変化する等の症状がみられたり、不均一な草丈抑制をもたらしたりする場合があるので、まきむらのないよう均一に散布してください。
 - ラフでは、高薬量(グリーンフィールド水和剤: 0.1～0.2g/m²、グリーンフィールド粒剤: 5～10g/m²、2回以内)もしくは低薬量(0.0125～0.05g/m²、8回以内)のいずれかの薬量のみで管理することが望しいです。
 - ⑥西洋芝(パームユーダグラス)、ブルーグラスで使用する場合は、ラフ以外では使用しないでください。
 - ⑦水源池、養殖池などに本剤が飛散、流れないように注意してください。
 - ⑧散布器具・容器の洗浄水および残り薬液は河川などに流さないでください。容器、空袋などは環境に影響を与えないように適切に処理してください。
 - ⑨本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には予備試験を行うか、または病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

- 使用前にラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空袋は圃場などに放置せず、廃棄物処理業者に委託する等により適切に処理してください。

販売元



株式会社ニチノー緑化

取扱店

安全使用上の注意



- 誤飲、誤食などに注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けてください。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 粉末が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください(弱い刺激性)。
- 粉末が皮膚に付着しないように注意してください。皮膚に付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください(弱い刺激性)。
- 散布の際は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業服等を着用してください。また散布液を吸い込んだり浴びないように注意してください。作業後は手足、顔等を石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、小児や散布に関係のない者を被害に近づかせないでください。居住者、通行人、畜産等に被害を及ぼさないよう注意をはらってください。散布後少なくとも散布の当日は散布区域に縄張いや立札をたてるなどして、立ち入らないよう配慮してください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。